

◆重点地区の“まちづくり”、“みちづくり”の方針

まちづくり、みちづくりの中で重要となる次の6地区を重点地区としています。

■天王町駅周辺

- ・道筋の連続性を再生する。
- ・屈折部となる道筋を分かりやすくする。
- ・駅や駅広、公園、道路等の空間に一体性を持たせる。
- ・まち歩き起点・中継地としての情報発信機能、休憩機能等を持たせる。
- ・駅前広場及びまち歩き起点としての滞留空間を確保する。等



■保土ヶ谷駅西口商店街

- ・宿時代から継承される道路幅員を生かした道路景観とする。
- ・歩行者の安全性を確保する。
- ・歩車共存の道路空間として断面構成とデザインを検討する。
- ・街道風情を感じる設えとする。
- ・イベント等に活用しやすい設えと仕組みを検討する。等



■保土ヶ谷駅西口駅前広場

- ・まち歩きの起点として滞留空間と情報発信機能を持たせる。
- ・旧東海道への道筋や今井川の川筋との関係性を高める駅前広場空間づくり。
- ・保土ヶ谷駅西口商店街や今井川等を含めた回遊エリアの形成方策を検討する。
- ・駐輪場等の規模や配置、整備方法を検討する。等



■保土ヶ谷小学校跡地

- ・地域の人々が気軽に立ち寄り自然と地域性が高まる道の駅的な機能導入を検討する。
- ・歴史を活かし地域内外で交流を深める機能導入を検討する。
- ・施設の視認性やアクセス動線の検討を行う。等



■天王町商店街・洪福寺松原商店街

- ・道路や店舗等各種施設のバリアフリーを進める。
- ・交通のあり方を検討する。
- ・賑わいの維持向上について検討する。等



■天王町駅高架下・沿道

- ・鉄道・沿道に並行して流れる帷子川の眺めや親水性を活かした空間を形成する。
- ・鉄道・沿道に交差する古道・旧東海道や旧帷子川の歴史を活かした空間を形成する。
- ・安全で快適な道路空間整備や沿道の賑わいの形成を図る。等



◆まち・みちの再生に向けて

『旧東海道から“まち・みち・ひと”が、繋がり広がるまちづくり・みちづくり』

基本構想のコンセプト（1頁参照）や各方針（2,3頁参照）を活かしながら、道筋や辻の空間づくり、拠点づくりを進めるとともに、それらを活かした多様な取り組みを連鎖させていきます。これにより、保土ヶ谷宿地域の特性をより深め、まち・みち・人の結びつきを強め、大きなうねりとなっていくまちづくり、みちづくりを進めていくことを考えています。平成27年度には、基本構想を踏まえて「まち・みち再生計画」を策定します。

発行：横浜市道路局企画課 担当：西岡、井上、三角
 問合せ先：(電話番号) 045-671-3533 (FAX) 045-651-6527
 編集協力：横浜市都市整備局都市デザイン室、保土ヶ谷区市政推進課



「旧東海道「保土ヶ谷宿」を未来へつなげる まち・みち再生基本構想」を取りまとめました！

◆旧東海道「保土ヶ谷宿」を未来へつなげるまち・みち再生基本構想について◆

「まち・みち再生計画」の検討に向けた「旧東海道「保土ヶ谷宿」を未来へつなげるまち・みち再生基本構想（以下、基本構想）」を、地元住民等によるワークショップでの検討（「保土ヶ谷宿みちづくり通信第8号」参照）と学識経験者等による検討会（全2回開催）等を踏まえて取りまとめました。

（市のホームページ（右記参照）でも公開しています。http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/plan/toukaido/hodogayamirai/）

◆まちづくりとみちづくりのコンセプト

『各時代の積み重ねを活かし未来へつなげる“まちづくり”“みちづくり”』

旧東海道保土ヶ谷宿周辺は、保土ヶ谷宿成立以前から交通の要衝としての歴史を有し、東海道五十三次の宿場町においても稀有な宿場のかたちとなっています。また、近代化に伴う大規模な工場立地や商業の発展、高度成長期以降の鉄道駅周辺を中心とした生活圏の発展により、まちとみちのつながりが形成されています。

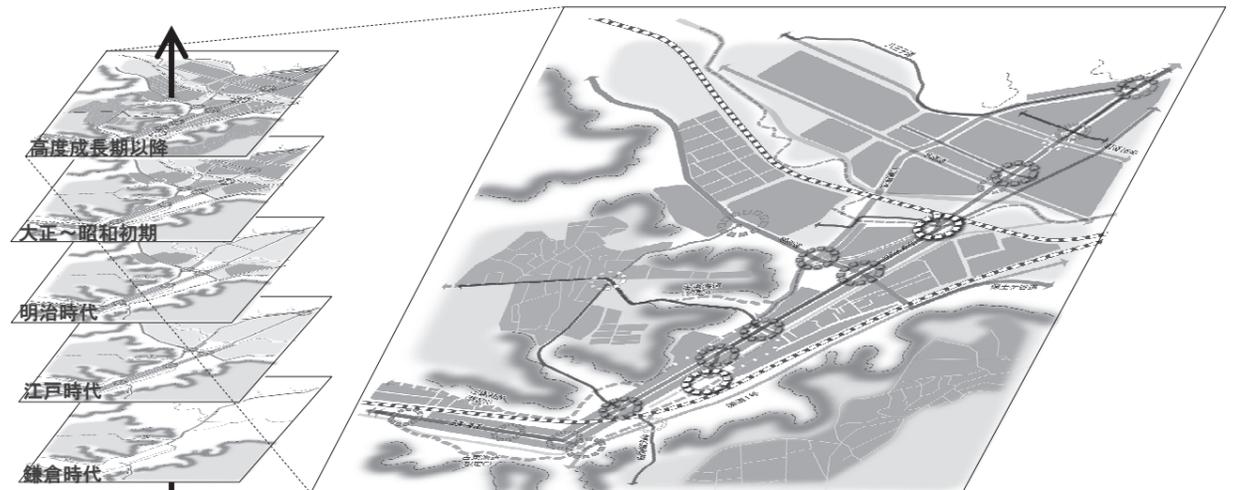
さらに、近年、地域の歴史を活かした住民主体の多様なまちづくり活動が行われており、保土ヶ谷宿成立以前から現在まで積み重なる旧東海道の歴史は、現代においても周辺住民の心のふるさととなっています。

これらの各時代において積み重ねられてきた歴史を活かし、地域住民や来街者等により生まれ、継承されていく“まちづくり”“みちづくり”を、以下の視点によって進めていきたいと考えています。

【視点1】
 “みち”と“まち”の変遷を地域の魅力として継承する

【視点2】
 地域内外の交流を活性化

【視点3】
 まち・みちへの愛着を深め、誇りを高める

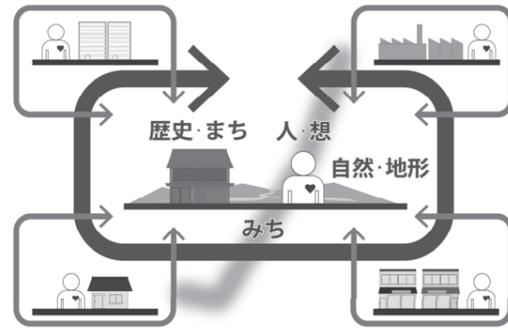


各時代の歴史の積み重ねによるまちのかたち

基本構想（概要）

まちづくりとみちづくりのコンセプト及び3つの視点（1頁参照）を踏まえ、「道路空間の整備」、「情報発信・交流促進」、「地域活動連携」それぞれのコンセプト、方針を定めた基本構想を取りまとめました。

旧東海道を軸としながら、中世以前・明治以降の道筋や川筋、それらに関連する多様な資源を活かした道路空間づくりにより、「みち」から保土ヶ谷宿地域の「まち」の奥ゆきを生み出し、地域とともに再生・継承していきます。



■まちづくりとみちづくりのコンセプト

『各時代の積み重ねを活かし未来へつなげる“まちづくり”“みちづくり”』

■道路空間の整備コンセプト

保土ヶ谷宿の道筋発展の歴史を活かし“まちに奥ゆきを与える”みちづくり

■景観整備の方針

- 1 旧東海道の多様な道路幅・道路断面を1つにつなぐ街道風情漂うみちづくり
- 2 歴史の深みを継承し、まちの奥行きを作る回遊性の高いみちづくり
- 3 暮らしの豊かさを高めるみちづくり

道路空間の現況



環状1号線の様子



保土ヶ谷駅西口商店街の様子



古東海道の様子



金沢鎌倉道の様子

■情報発信・交流促進のコンセプト

住む人・訪れる人を繋ぐ、拠点の形成

■拠点整備の方針

- 1 時代とひとつをつなぐ拠点の活用強化
- 2 まち歩きを支援する情報・休憩拠点の形成
- 3 歴史がしみ込み、地域住民同士やまち歩き等で訪れる人々をつなぐ交流拠点の形成

交流施設の現況とイメージ



まちかど博物館の様子



帷子会館



情報・休憩拠点のイメージ



交流・展示拠点のイメージ

■地域活動連携のコンセプト

地域とともに創り育てるまちづくり、みちづくり

■地域活動連携の方針

- 1 まち・みちへの関心と繋がりを強化し、まちづくり・みちづくりの推進力を高める
- 2 計画・設計、整備、管理・活用の各段階等への市民参加

活動イメージ



まち歩きガイドの様子



市民参加のデザイン検討イメージ



市民参加の道路整備の実施イメージ



朝市街の様子

■まちの奥行きを継承するための資源

	時代別でのまち・みちの出来事				
	中世以前 鎌倉時代以前	近世 江戸時代	近代 明治時代	現代 大正時代～昭和初期	現代 戦後以降
各時代の道筋等の成立や整備	金沢鎌倉道/古東海道/八王子道/相州道/保土ヶ谷道	旧東海道	水道道/JR線開通	天王町商店街/国道1号/国道16号/陣中鉄道開通/横浜市電	環状1号線/帷子川整備
各時代の川筋の形成や整備	旧今井川/旧帷子川	今井川	—	—	帷子川
関連する主なまちの資源等	社寺	軽部本陣、旅籠本金子屋/脇本陣跡等史跡サイン/帷子橋	東京麦酒保土ヶ谷工場/富士ガス紡績保土ヶ谷工場跡地一帯/南北石油（南北橋）	保土ヶ谷橋（震災復興橋）/保土ヶ谷曹達/東洋電機製造/洋館付住宅	イコットハウス/松原商店街/YBP/松並木プロムナード

■各辻と道筋等の時代背景

辻	中世以前	近世	近代	現代
	～鎌倉	江戸	明治	大正昭和戦後～
①追分辻	○	○		
②松原商店街辻		○		○
③天王町辻		○	○	
④旧東海道水道道辻		○	○	
⑤天王町駅前辻（駅前空間）		○	○	○
⑥大門辻	○	○		
⑦旧中橋跡辻	○	○		
⑧環1辻		○		○
⑨保土ヶ谷駅西口駅前辻（駅前空間）			○	○
⑩旧東海道金沢鎌倉道辻	○	○	○	○
⑪国道金沢鎌倉道辻	○	○		○
⑫保土ヶ谷橋辻		○	○	○
⑬本陣跡辻		○	○	○
⑭大仙寺前石橋辻	○	○	○	○
⑮茶屋町橋辻	○	○	○	○
⑯八王子道辻			○	○
⑰古東海道水道道辻		○		
⑱帷子川辻	○	○	○	
⑲神明社前辻	○	○	○	
⑳ビール坂下辻	○	○	○	
㉑月見台辻	○	○	○	○

